

(様式第9号) (第51条の7、第54条の2、第55条関係)

事後調査報告書



2016年10月28日

長野県知事 殿
(市町村長)

〒389-0102
長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1370-329

住所 株式会社 エムエフケー
氏名 代表取締役 木下若男
(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

長野県環境影響評価条例第31条第1項(長野県環境影響評価条例第40条第1項において準用する同条例第31条第1項)の規定により、下記のとおり送付します。

記

対象事業の名称	旧軽井沢倶楽部開発事業
対象事業の種類	管理別荘地分譲
対象事業の規模	747.458.87 m ²
対象事業実施区域	長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字深山
関係地域の範囲	軽井沢町
報告対象期間	平成27年4月1日から 28年3月31日まで
事後調査の状況	別紙の通り
環境の保全のための措置の状況	別紙の通り
対象事業の実施の完了後、対象事業に係る土地又は工作物において行われる事業活動その他の人の活動で当該対象事業の目的に含まれるものを引き継いだ場合にあっては、当該引き継いだ者の住所及び氏名(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	

(備考) 必要に応じ、事後調査の状況又は環境の保全のための措置の状況に係る図面又は写真を添付すること。

1. 事業進捗状況

本年度は経済情勢が上向いたこともあり、新規売却区画は5区画です。

平成27年3月末現在で、建築済み別荘建物63戸、建築中3戸という状況です。

事業用地については、平成22年に、具体的な進展が望めないまま一旦事業を中止しています。

センター管理棟内のレストラン・アマンダンリーフが平成22年12月末をもって営業を終了し撤退いたしました。現在のところは、レストランの通常営業はしておりません。

2. 大気質・騒音

今後の建築見通しも年間2～3戸前後で推移するものと考えられ、環境保全上影響はないものと思われます。

3. 汚水処理施設処理水の水質調査

毎月1回・年12回の水質検査を行いました。測定により放流処理水は良好な状態にあります。

別途添付資料（27年度処理施設現況報告書）

4. 放流水個所の魚類生息状況

金魚（鮒金）の生息状況は四匹全て、異常なく活発に泳いでいます。

(H28. 3.31日現在)

平成28年 3月31日

(株) エムエフケー 殿

若林設備工業所
代表 轟 伸二
上田市真田町本原 3387-1
電話 090-3063-2210

現況報告書

施設名 旧軽井沢倶楽部汚水処理施設

上記施設の維持管理

上記施設の維持管理について平成27年4月1日～28年3月31日の処理施設の現状を以下により報告します。

記

1. 施設概要

処理方式、他

2. 保守点検管理の状況

- 1) 原水流入の現状
- 2) 電気、機械設備管理の現状
- 3) 各単位施設の水質管理
- 4) 放流水法定分析表
- 5) 中継ポンプ場現況
- 6) その他

1. 施設概要

1) 処理方式

汚水調製槽前置型+接触ばっ気方式(建設省告知第1292号第6第2号+三次処理)

2) 処理対象人員

1,700人

3) 汚水処理量

日平均汚水量 450m³/日

4) 放流水質(施設認定許可時の建設省許可数値)

BOD	5mg/l
S S	5mg/l
P H	5.8~8.6
大腸菌群数	3,000個/ml以下
T-N	10mg/l以下
T-P	2mg/l以下

2. 保守点検管理の状況

1) 原水流入の状況

H27年度日平均汚水流入量 85m³/日~120m³/日(処理計画水量の22%)

2) 電気、機械設備管理

1) 動力引込み関係 中部電力保安協会にて点検—現在正常

2) 機械関係

イ、機器類運転方式と設置台数

機 器 名	運 転 方 式	
・原水ポンプ	水位設定による自動運転(1, 2, 3号交互運転)	3台
・流量調製槽ポンプ		1, 2, 号交互運転) 設置台数3台
・調整槽攪拌ポンプ	手動連続運転	現在3台交互運転 設置台数3台
・調整槽ブロー	1号機手動連続運転	現在1号連続運転 設置台数2台
・ばっ気ブロー	タイマー自動運転	現在2号連続運転 設置台数5台
・攪拌ポンプ	手動連続運転	現在1, 2号連続運転 設置台数3台
・沈澱槽汚泥引抜ポンプ	エア—リフトポンプ	1・2号タイマー—運転 設置台数3台
・消泡ポンプ	手動連続運転	現在1台連続運転 設置台数1台
・放流ポンプ	水位設定による自動運転	現在3台交互運転 設置台数3台
・荒目スクリーン	手動連続運転	設置台数1台
・微細目スクリーン	手動連続運転	設置台数1台
・汚泥搔寄機	手動運転	現在停止中
・汚泥攪拌機	手動運転	現在停止中

イ-1 平成28年3月現在の実施運転状況

機 器 名	現在の実施運転状況
原水ポンプ	原水ポンプ槽水位による自動運転
流量調整ポンプ	調整槽水位による自動運転
調整槽攪拌ポンプ	調整槽内貯留汚水攪拌のため24時間連続運転
調整槽ポンプ	処理水量調整のポンプ、汚水計量装置を径由し次槽に送水するポンプであり現在は毎時4mの計量で後段の槽に移送運転中である、
調整槽ブロー	調整槽内貯留汚水腐敗防止及び貯留汚水性状均一のため攪拌24時間連続運転中
ばっ気ブロー	接触ばっ気槽に酸素を供給する機械であり24時間連続運転
攪拌ポンプ	移流水路、3次処理槽内水の浮遊物沈殿及びDO低下防止のため連続運転
沈澱槽汚泥引抜ポンプ	接触ばっ気槽より流入された処理水中の沈澱汚泥を汚泥貯留槽に送泥するポンプでありタイマーにて間欠運転
消泡ポンプ	ばっ気槽内汚水は空気攪拌されるため泡が発生し飛散を防止するため高圧水による消泡を行うポンプであり24時間連続運転
放流ポンプ	処理された汚水は消毒され最終的には河川にポンプにより放流されるポンプは槽内水位により自動運転

荒目スクリーン	処理施設に流入する汚水中の夾雑物を除去する機械で連続運転である
微細目スクリーン	流入汚水中の微細な夾雑物を除去する機械で連続運転である
汚泥掻寄機	沈澱槽に沈澱した汚泥を掻き寄せる機械で現在停止中(三次処理用)
汚泥攪拌機	三次処理に於いて汚水に薬液を注入攪拌する機械 現在停止中

イ-2 各機器の現在状況

原水ポンプ	異常なく正常	3台設置
流量調整ポンプ	異常なく正常	3台設置
調整槽ブロー	異常なく正常	2台設置
ばっ気ブロー	異常なく正常	5台設置
攪拌ポンプ	異常なく正常	
沈澱槽汚泥引抜ポンプ	異常なく正常	
消泡ポンプ	異常なく正常	
放流ポンプ	異常なく正常	
荒目スクリーン	異常なく正常	
微細目スクリーン	異常なく正常	
汚泥掻寄機	異常なく正常(現在停止中)	
汚泥攪拌機	異常なく正常(現在停止中)	

ロ) 機器類の点検管理

浄化槽保守管理時に各機器の作動状況:音:電流値等測定し点検表に記録保存
機器類の運転方法、タイマー設定等については現場水質測定により良好な処理機能に即した運転
方式を設定している

3) 動力制御盤

運転中の各機器類の出力数値測定は点検表に記録
制御盤は中部電力保安協会にて定期的に保安点検

・流入原水

現場水質性状分析:(管理内容は浄化槽法11条検査により合格)
分析項目 色相・PH・水温・透視度・等測定点検表記録
流入原水 色相・・・淡黄色 PH・・・7.5～7.7 透視度・・・12度前後
水温・・・12.5℃～16℃ 透視度 13度前後
油脂分:SS一:BOD一:大腸菌群数等は不明
観察結果 流入原水はは非常分流式を各家庭にて守り処理に影響にな
る物質は流入しておりません。

・流量調整槽

管理確認内容
槽内汚水の攪拌状況観察確認と後段移送水の計量調整
観察結果 移送水の計量設定は2:3系列の各系列に5m/時に設定し次槽に移送
攪拌状況・・・良好に攪拌(攪拌量の調整は点検時汚水性状により攪拌
汚水計量調整・・・日平均流入量約70～100mを16時間にて調整
汚水計量 $100\text{m} \div 13\text{hr} = 10\text{m/hr}$ にて計量移送(2系列分割)
よって1系列供給量は5m/hrにて処理運転(1列 5m/時)

・接触ばつ気槽 (2系列共通)

第1室

現場水質性状検査
検査項目 色相・DO・透視度・PH・水温・生物膜の観察
・現 状 生物膜色相・・・薄茶色 DO・・・6.0mg/l～8.8mg/l
透視度・・・80度前後 PH・・・7.6前後 ORP・・・80前後
槽内水色相・・・無色 DO・・・7mg/l前後
水温・・・冬13℃～夏23℃生物膜・・・茶色 付着状況良好

第2室

現場水質性状管理
第1槽とほぼ同様水質である。

・沈澱槽

流入するばつ気槽処理水に混入する汚泥の沈降速度は良好であり
上澄水は無色透明で透視度100度以上を保持し後段の第三次処理
施設に移送されている

・第三次処理施設(2系列共通)

第三次処理施設の脱窒素槽・硝化槽・再ばっ気槽・混和槽・凝集槽までは沈澱槽よりの流出水の性状を維持するため「ばっ気攪拌」をして最終沈澱槽に移送しています、最終沈澱槽越流水の性状は前段の沈澱槽の処理水を完全に確保しています

・消毒槽(消毒滅菌後流出水採水検査)

現場水質性状検査

分析項目 色相・DO・透視度・PH・水温・残留塩素の測定

・現状 色相・・・無色 DO・・・7.5mg/l前後
透視度・・・80度以上 PH・・・7.5～7.8前後
水温・・・12℃～22℃ 残留塩素・・・0.1mg/l以上
上記現場水質分析により処理水良好なり

・その他

放流水の法的分析は専門分析機関にて行い分析数値は下記のとおりです。

・法定水質分析結果 (単位 mg/l)

検査年月日	BOD	S S	P H	大腸菌群数
平成 27 年 4 月 9 日	0.7	1未満	7.5	0
平成 27 年 5 月 22 日	1	1	7.7	0
平成 27 年 6 月 10 日	1.9	2	7.4	0
平成 27 年 7 月 22 日	2.1	1未満	7.5	0
平成 27 年 8 月 10 日	0.7	2	7.4	0
平成 27 年 9 月 9 日	1.7	2	7.7	0
平成 27 年 10 月 23 日	1.1	1未満	7.4	0
平成 27 年 11 月 19 日	0.9	1未満	7.7	0
平成 27 年 12 月 11 日	0.9	1未満	7.5	0
平成 28 年 1 月 22 日	6.3	1未満	7.4	0
平成 28 年 2 月 12 日	6.1	1未満	7.4	0
平成 28 年 3 月 16 日	0.8	1未満	6.8	0
年間最大分析値	6.3	2	7.7	0
年間平均分析値	2.02	1.75	7.45	0